



様式1(主な取組)

活動指標名	指定校数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	1校	1校	1校	1校	1校	1校	100.0%	705	順調	<p>R3年度に辺土名高校を環境教育推進校に指定。環境科を中心として様々な取組と、今後の取組について「SDGsの視点で検証する本校環境教育の取り組み」をテーマに研究を続けている。本取組において、先進校視察や課題研究、成果をまとめた中間報告会では指導助言など行い、来年度につなげる支援を行った。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>環境教育推進校である辺土名高校では、「SDGsの視点で検証する本校環境教育の取り組み」をテーマに研究を本年度スタートさせた。現在の進捗状況は順調である。</p> <p>辺土名高校では、環境科を中心に様々な取り組みを行ってきたが、学校全体でSDGsの視点で改めて取り組み内容を整理。生徒自らこれからの研究課題について、17のゴールとの関連を意識することで、主体的に活動する気運が高まっている。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>R1～R2年度の研究指定校である北山高校の成果を、より多くの学校へ情報提供を行う。</li> <li>R3年度からの研究指定校である辺土名高校に対して、計画が順調に取り組めるよう指導助言を行う。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県北部の自然が世界遺産に登録されたこともあり、辺土名高校は北山高校の研究成果を参考に、SDGsの目標と研究活動の目的との結びつきを生徒一人一人に考えさせながら、主体的な取組を進めている。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ R3年度から辺土名高校が環境教育推進校として、研究を進めている。

##### ○外部環境の変化

- ・ R3年度に本島北部および西表島が世界遺産に登録され、自然環境の保全に全県で意識が高まっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 環境保全に関する研究活動とSDGsの目標との結びつきについて、生徒が主体的に取り組むための工夫や研究成果を周辺の小中学校をはじめ多くの高校で共有する。



### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 環境保全に関する研究活動とSDGsの目標との結びつきについて、生徒が主体的に取り組むための工夫や研究成果を周辺の小中学校をはじめ多くの高校で共有できるよう、指導助言を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-才	県民参画と環境教育の推進	施策	① 環境保全に向けた県民参画の推進と環境教育の充実
			施策の小項目名	—
主な取組	環境学習指導者講座			
対応する主な課題	②県民一人ひとりが環境保全の重要性など環境問題に対する意識の向上を図っていくためには、幼い頃からその重要性を学ぶことができる環境整備が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
県立総合教育センターでの短期研修講座として、小・中・高・特別支援学校の教員を対象に、環境学習の概論の把握や授業で使える簡易な環境調査等を通して、環境学習に必要なスキルを養い、講義等を通して、課題解決の手法を模索し、指導スキルの向上を図る。		1講座				
実施主体	県	県立総合教育センター短期研修講座の実施				
担当部課【連絡先】	教育庁県立学校教育課	【098-866-2715】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 県立学校指導事業費							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
県単等	直接実施	250	279	279	279	279	279	県単等	OR3年度： 小・中・高・特支の教員を対象に、環境教育についての研修講座をライブ配信にて実施、環境教育への関心と理解および指導力の向上が図られた。 OR4年度： 県立総合教育センター短期研修の講座として、小・中・高・特支の教員を対象に、環境教育についての研修講座を夏期休業期間に計画。	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
									OR3年度：	
									OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	研修講座数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	1講座	2講座	2講座	1講座	1講座	1講座	100.0%	279	順調	県立総合教育センター短期研修講座の一つとして、小・中・高・特支の教員を対象に、環境学習に関する講義、講演、実践事例発表等を7月末に実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										県立総合教育センターで小・中・高・特支の教員を対象に、環境教育についての研修講座を、感染症対策のためライブ配信にて実施することができたため、進捗状況は順調である。実施の結果、環境教育に関する関心と理解を深め、指導力の向上が図られた。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県立総合教育センターが実施する短期研修講座について、教員が講座を受けやすい日程を検討する必要がある。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県立総合教育センターが実施する短期研修講座において、新型コロナウイルス感染拡大のため実施方法を変更。ライブ配信にて参加しやすい環境をつくった。</li> <li>・研修内容として、「身近な環境を楽しく学ぶおきなわ環境教育プログラム集」を活用し、授業で実践しやすい内容にしたところ、参加者に好評であった。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・感染症対策のため、ライブ配信にて実施できたことは、受講生にとって参加しやすい環境となった。
- ・令和4年度県立高等学校初任者研修において、SDGsに関する研修の一環として外部講師による環境教育講座を計画することができた。

##### ○外部環境の変化

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、体験的な研修は実施することができなかった。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・感染症対策のため、ライブ配信にて実施できたことは、受講生にとって参加しやすい環境となった。
- ・参集による研修の実施が望ましいが、教員が講座を受けやすくする工夫としてオンライン配信は有効と考えられる。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・感染症の拡大状況を見極めながら、オンライン研修等ICTを効果的に活用した実施方法を検討し、参加人数を維持する必要がある。